

第95期中間

株主の皆様へ

自平成22年4月1日 至平成22年9月30日

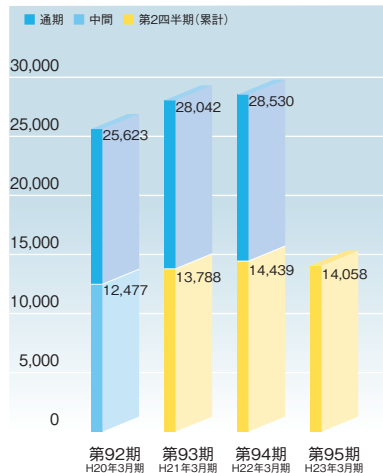


FINANCIAL HIGHLIGHTS

財務ハイライト（連結）

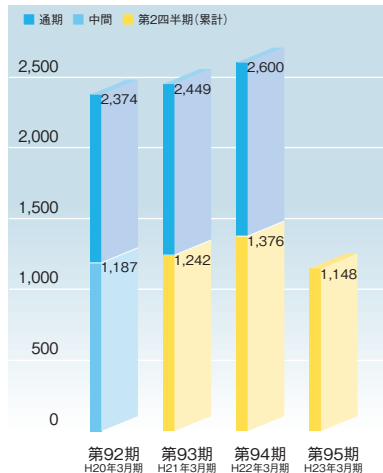
売上高

単位：百万円



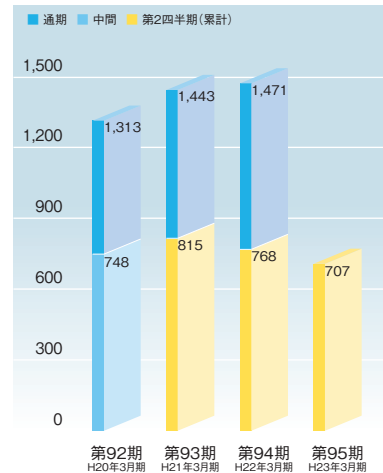
経常利益

単位：百万円



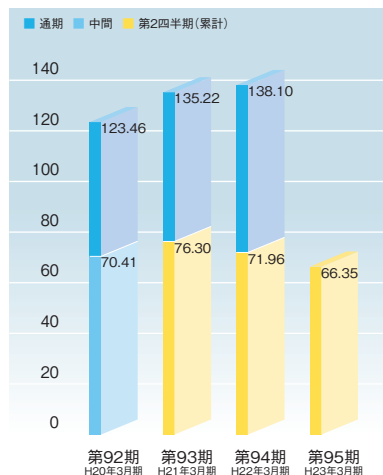
四半期（中間）純利益・当期純利益

単位：百万円



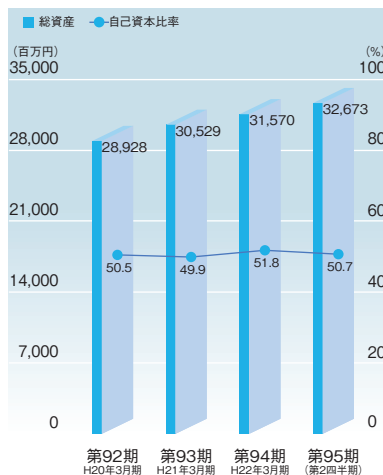
1株当たり四半期（中間）純利益・当期純利益

単位：円



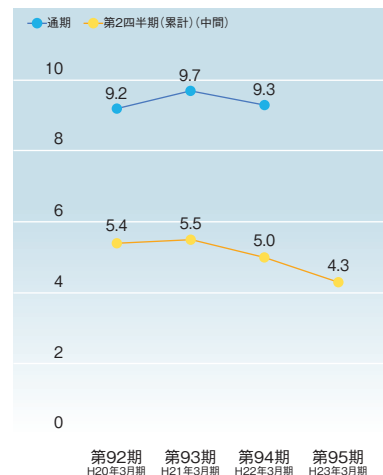
総資産／自己資本比率

単位：百万円／%



自己資本利益率 (ROE)

単位：%



※第93期連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、適用前と適用後では作成基準が異なるため、比較に関する情報については、参考として記載しております。

※当冊子は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性のある訂正情報や業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁 EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素から格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第95期上半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業の概況をご報告いたします。

当社グループの主たる事業である印刷包材業界におきましては、企業間競争が激化する中、地域に密着した提案型営業活動の展開、市場ニーズに即した付加価値の高い製品の安定供給に努めてまいりました。

当上半期の実績につきましては、別記「営業の概況」のとおり、売上高、利益とも前年実績を下回りました。

当下半期につきましては、医薬品パッケージ専用工場として改修された富山工場を基幹とし、9月に操業を開始した医薬品添付文書専用の「富山南工場」を加えた製品群・市場別生産体制で、お客様に信頼と安心を提供できる品質やサービスの向上に努めてまいります。中長期経営計画「朝日2010計画」に掲げる、オンリー1の印刷包材、包装企業としての基盤を構築し、更なる企業価値の拡大に取り組み、株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えております。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき、普通配当10円に「富山南工場竣工記念配当」5円を加えた15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

平成22年12月



代表取締役社長

河村孝一

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国を中心とした新興国の経済成長や政府の経済対策により、景気回復の兆しが見られたものの、第2四半期後半においては、世界的な金融不安を背景とした予想以上の円高・株安の進行など、依然として厳しい状況で推移しております。

このような中、当社グループは、「美と健康」にかかわる分野を事業領域とし、医薬品・化粧品包材（パッケージ・ラベル・添付文書等）の製造・販売を行う印刷包材事業を中核に、業容の拡大、企業価値の更なる向上に努めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ3億81百万円減（前年同期比2.6%減）の140億58百万円となりました。

利益面につきましては、生産性の向上に努めましたものの、売上高減少の影響が大きく、当第2四半期連結累計期間における営業利益は10億28百万円（前年同期比18.2%減）、経常利益は11億48百万円（前年同期比16.6%減）となり、四半期純利益は7億7百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

印刷包材事業

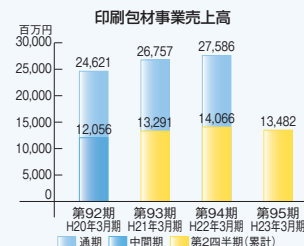
当社グループの中核事業であり、医薬品・化粧品の印刷包材（パッケージ・ラベル・添付文書等）に特化し、高度な印刷技術や優れた品質管理が求められる当分野において、高い信頼を得、業界No.1の地位を築いております。

当社グループは市場ニーズに即した付加価値の高い製品の提供に努め、お客様・地域に密着した提案型営業活動を展開するとともに、高水準の品質保証体制を追求し、安定した製品の供給に努めてまいりました。

医薬品市場におきましては、高齢化の進展を受けて、医療費抑制策の一環としてジェネリック製品の普及と促進が進められております。当社グループでは、医療用医薬品向け製品の受注は堅調に推移しましたものの、OTC医薬品向け製品に関しましては、リピートオーダーが伸び悩み、前年同期を下回りました。

一方、化粧品市場におきましては、消費マインドの冷え込みにより主力の中価格帯商品の販売に伸び悩みが見られました。当社グループでは、新規得意先開拓や新製品獲得に努めましたが、受注は前年同期と比べ減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における印刷包材事業の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ5億84百万円減（前年同期比4.2%減）の134億82百万円となりました。

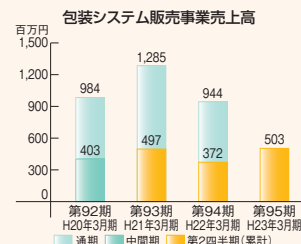


包装システム販売事業

包装機械を含めたトータルな提案による、更なる得意先ニーズへの対応を目的に、包装機械や包装ラインの企画・仕入・販売を行っております。

印刷包材事業と連携した提案活動に努めました結果、当第2四半期連結累計期間における包装システム販売事業の受注は、前年同期に比べ増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における包装システム販売事業の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ1億30百万円増（前年同期比35.1%増）の5億3百万円となりました。



人材派遣事業

子会社、朝日人材サービス株は、当社グループの定年を迎える団塊世代が働きやすい環境を整える狙いで設立しましたが、グループ内のみならず地域企業からの求人派遣も増加し、重要性が増したため、今期より連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結累計期間における人材派遣事業の売上高は、71百万円となりました。

なお、今期より、セグメントを、印刷包材事業・包装システム販売事業から、印刷包材事業・包装システム販売事業・人材派遣事業に変更しております。

通期の見通し

第3四半期以降のわが国経済は、景気回復の兆候が出始めているものの、円高・株安の進行など予断を許さない状況が想定され、印刷包材業界におきましても、引き続き厳しい状況で推移するものと思われます。

このような中、当社グループは、企業間競争の激化によりますます厳しくなる事業環境へ対応すべく、中核事業である印刷包材事業へ経営資源の集中を行い、「朝日2010計画」のもと、「品質・コスト・開発力・提案力で業界オンリー1をめざす」を企業ミッションとし、業容の拡大、経営の効率化を進め、強固な企業体質を確立し、更なる企業価値の向上に努めてまいり所存であります。

現時点での業績見通しは右のとおりであります。

	第95期連結計画	前期比増減率
売上高	293.0 億円	2.7 %
営業利益	24.5	3.2
経常利益	26.5	1.9
当期純利益	15.0	2.0

※第93期連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、適用前と適用後は作成基準が異なるため、比較に関する情報については、参考として記載しております。

※当冊子は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

FINANCIAL DATA

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期末 (平成22年9月30日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)	科目	期別	当第2四半期末 (平成22年9月30日現在)	前期末 (平成22年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		11,402	11,594	流動負債		11,778	10,965
現金及び預金		1,021	870	支払手形及び買掛金		4,921	4,857
受取手形及び売掛金		8,135	8,010	短期借入金		2,780	2,280
たな卸資産		1,572	1,678	一年内返済予定長期借入金		736	828
その他		703	1,048	賞与引当金		435	368
貸倒引当金		△31	△13	その他		2,905	2,632
固定資産		21,271	19,976	固定負債		4,164	4,103
有形固定資産		16,416	15,435	長期借入金		1,581	1,884
建物及び構築物(純額)		6,429	6,059	退職給付引当金		996	949
機械装置及び運搬具(純額)		3,120	2,900	役員退職慰労引当金		533	507
土地		5,769	5,736	その他		1,054	763
その他		1,097	739	負債合計		15,943	15,069
無形固定資産		341	344	(純資産の部)			
投資その他の資産		4,513	4,197	株主資本		16,527	16,079
投資有価証券		2,672	2,522	資本金		1,514	1,514
その他		1,947	1,761	資本剰余金		1,684	1,676
貸倒引当金		△106	△87	利益剰余金		13,940	13,482
資産合計		32,673	31,570	自己株式		△611	△594
				評価・換算差額等		51	269
				その他有価証券評価差額金		51	269
				新株予約権		31	34
				少数株主持分		119	117
				純資産合計		16,730	16,501
				負債純資産合計		32,673	31,570

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売上高		14,058	14,439
売上原価		10,770	10,996
売上総利益		3,287	3,443
販売費及び一般管理費		2,259	2,186
営業利益		1,028	1,257
営業外収益		188	198
営業外費用		68	78
経常利益		1,148	1,376
特別利益		148	3
特別損失		20	3
税金等調整前四半期純利益		1,276	1,377
法人税、住民税及び事業税		606	660
法人税等調整額		△41	△60
少数株主損益調整前四半期純利益		711	—
少数株主利益		4	7
四半期純利益		707	768

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

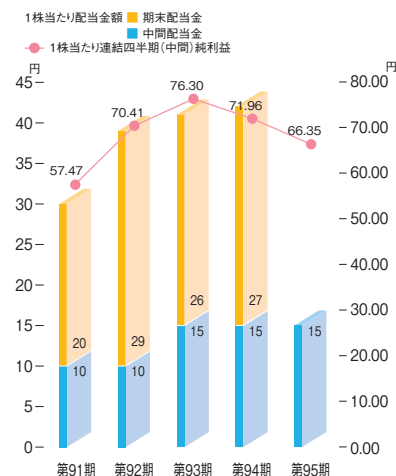
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,333	277
投資活動によるキャッシュ・フロー		△945	△1,231
財務活動によるキャッシュ・フロー		△293	663
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,018	658

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当の状況



当期中間配当金につきましては、1株当たり15円
(普通配当10円、富山南工場竣工記念配当5円)
とさせていただきます。

※当冊子は四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

※第93期連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、適用前と適用後では作成基準が異なるため、比較に関する情報については、参考として記載しております。

富山南工場稼働

富山南工場は本年9月に竣工し、順調に操業し始めました。医薬品添付文書に特化した専用工場として、印刷・断裁・折りまでの一貫製造体制を敷いております。サイズの大型化や複雑な折り仕様に対応した印刷機や折り機を増設し、様々なニーズにお応えします。

－工場概要－

敷地面積：39,444.78㎡

建物構造：工場棟 鉄骨造1階建（一部2階建）

延床面積：6,790.55㎡



印刷包材事業の製造体制

南工場の完成により、富山第二工場は1階が医療用医薬品向けパッケージ、2階はラベル製造の専用フロアとなりました。

中長期ビジョンに掲げております「製品群・市場別工場ラインの構築」に関しては、当社グループ全体での整備状況は次のとおりとなりました。

製造場所		市場／品種	医薬品包材			化粧品包材	食品包材	商業印刷
			パッケージ	ラベル	添付文書	パッケージ		
朝日印刷	富山工場		○					
	富山第二工場		○（医療用）	○				
	富山東工場					○		
	富山南工場				○			
阪本印刷			○					
協和カートン			○					
ニッポー					○		○	
スリーエス						○		

美しい地球を守ることの重要性を深く認識し、
「私たちは、社会と調和し、尊敬される企業をめざす」を基本理念として、
環境保全に配慮した企業活動を推進し、社会的責任を果たしてまいります。

廃棄物の削減とリサイクルの推進

- ・埋立廃棄物、焼却廃棄物のリサイクル化
(平成21年度 リサイクル率 99%)
- ・水性フレキソ印刷によるホイル紙、グラビア印刷代替
- ・水なし製版設備による廃現像液の削減

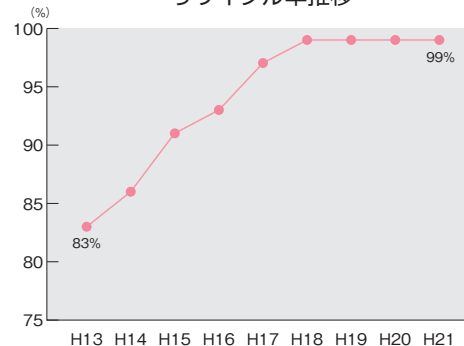
省エネ推進 (CO₂削減)

- ・生産設備の効率化による使用エネルギーの削減
- ・非常用照明のLED化
- ・省エネ型空調設備、照明設備
- ・エネルギー監視装置導入

化学物質管理とPRTR物質削減

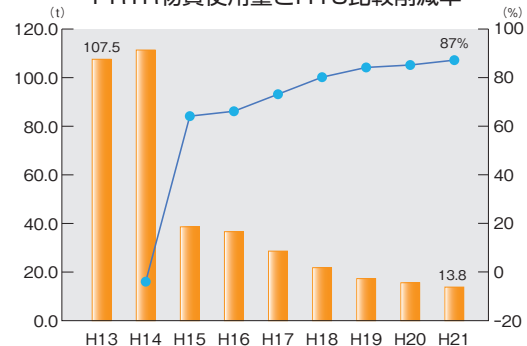
- ・溶剤系塗料の水性ニス化 (*)
- ・フレキソ印刷によるグラビア印刷代替
- ・フィルム貼りの水性化
- ・PRTR物質フリー接着剤の使用
(平成21年度 PRTR物質使用量 13,800kg
平成13年度比 87%削減)

リサイクル率推移



H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21

PRTR物質使用量とH13比較削減率



H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21

*) 水性化の推進により、製造過程で発生するPRTR物質 (主としてトルエン) を大幅に削減し、同時に、VOCの削減にも効果が表れています。

GROUP NETWORK

グループの状況

グループネットワークと
全国に広がる販売網で
ニーズにお応えいたします



富山工場/富山第二工場



富山東工場

富山南工場

本社/朝日人材サービス株

クリエイティブセンター/富山営業部

(株)ニッポー

協和カートン(株)

滋賀営業所

京都営業所

神戸営業所

徳島営業所

九州営業所

金沢営業所

東北営業所

高崎営業所

宇都宮営業所

東京支店/メーク営業部/開発営業部

新宿営業所

東海営業所

岐阜営業所

名古屋支店/ (株)スリーエス

三重営業所

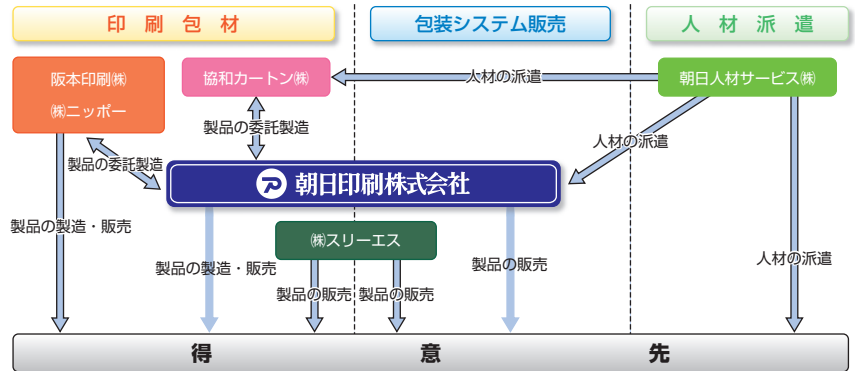
奈良営業所

阪本印刷株

大阪支店

連結子会社

朝日印刷グループ



会社概要

会社の概況 (平成22年9月30日現在)

会社名	朝日印刷株式会社
本社所在地	〒930-0084 富山県富山市大手町3番9号
創業	明治5年
設立	昭和21年5月
資本金	1,514,753,776円
主な事業内容	印刷・包装資材の製造、販売
株式会社	東京証券取引所市場第二部
従業員数(当社)	758名(嘱託・臨時従業員186名及び派遣社員は除く)
関連会社	阪本印刷株式会社 協和カートン株式会社 株式会社ニッポー 株式会社スリーエス 朝日人材サービス株式会社

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数	43,000,000株
発行済株式の総数	11,175,634株
1単元の株式数	100株
株主数	1,472名

役員 (平成22年9月30日現在)

取締役・監査役

代表取締役会長	朝日重剛
代表取締役社長	河村孝一
代表取締役副社長	京免美津夫
代表取締役専務	濱尚
常務取締役	大崎洋治
取締役	盛茂樹
取締役	伊藤茂
取締役	貴堂晋
取締役	丸山修
取締役	朝日重紀
取締役	吉岡覚
取締役	大橋俊秀
取締役	堀口達宏
取締役(非常勤)	細川由紀丸
常勤監査役	宇津輝男
常勤監査役	城川明保
監査役(社外)	大谷典孝
監査役(社外)	桶屋泰三

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
配当金	期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
基準日	定時株主総会については3月31日。そのほか必要ある時はあらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.asahi-pp.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

朝日印刷株式会社

本 社 〒930-0084 富山県富山市大手町3番9号
Tel: 076-421-1177 (代)
ホームページ <http://www.asahi-pp.co.jp/>